

ふしぎ ちから うみ まも

イワガキは不思議な力で海を守る!

日本
海の教室
PROJECT

学習ノート

年 月 日

なまえ

問題1

1つのイワガキが、体に取りこみ、きれいにする水の量は
1日に2Lペットボトル何本分でしょうか？

- ① 10本
- ② 90本
- ③ 180本



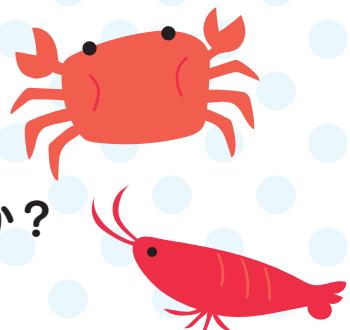
こたえ

問題2

イワガキの殻には、エビやカニの仲間など、
海の小さな生き物がたくさん、住んでいます。

なぜ、イワガキの殻を住みかにするのでしょうか？

- ① イワガキのエサを横取りしている
- ② イワガキのフンを食べている
- ③ イワガキに卵を産み付けている



こたえ

問題3

貝は大きく分けて「巻貝」と「二枚貝」の二種類に分けられます。
次のうち、イワガキの仲間はどれでしょうか？



①ヒオウギガイ



②サザエやアワビ



こたえ

問題4

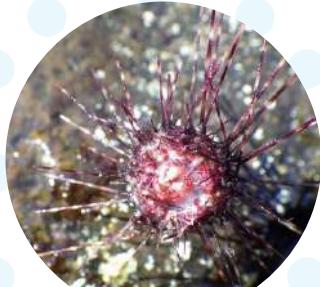
産まれたばかりのイワガキは、
どれくらい小さいのでしょうか？

- ① 5円玉の穴くらい
- ② シャープペンの芯くらい
- ③ 髪の毛の細さくらい



こたえ

イワガキにすむ小さな生き物



ウニの仲間

海藻や動物の死骸を食べている。アカウニやバフンウニなどが海士町周辺では生息している。



エビの仲間

川から海までさまざまなエビが生息している。食べ物も海藻から貝類まで体の大きさによって変わる。



ゴカイの仲間

多数の体節を持っている。体の両側に剛毛が生えている。釣りのエサとして使われる。



ホヤの仲間

雄雌同体である。プランクトンなどの小さな生物を水と一緒に吸い込んで食べている。一部のホヤは食用とされている。



ワレカラの仲間

海藻や動物の死骸を食べている。いろいろなものに付着して生活をしている。



巻貝の仲間

淡水、海水のどちらでも生息している。さまざまな色をしている。基本的に右巻きだが、左巻きの種もある。



クモヒトデの仲間

転石の下などでみられる。5本の細い腕をもち、素早く石の下などに逃げ込もうとする。



ウミセミ

見た目がセミに似ているのでウミセミと呼ばれている。



ダイナンギンポ



イソギンポ



トウヨウ
コシオリエビ



アマクサアメフラシ

岩場の浅いところで生息している。エビの仲間やゴカイを食べる肉食。体の側面に線がみられる。

さまざまな色をしている。岩のすきまや穴に生息している。

エビと名前は付いているが、ヤドカリ類に共通した形質を持っている。さまざまな色の種類をみることができる。

さまざまな色をしていて、背中のヒダヒダがつながっている。ムラサキではなく白い液体を吐く。



ミノウミウシ

肉食でクラゲやイソギンチャクのような刺胞生物を食べる。いろいろな色のミノウミウシがいる。



ウミケムシ

肉食で、砂の中で顔だけ出してえものを待つ。体の側面に毒針を持っているので、さわらないようにする。